



テープヒーター取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
また、本説明書は大切に保管し、必要なときにお読み下さい。



安全上のご注意

製品を安全に使用し、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、絵表示が記載されています。絵表示の意味をよく理解して、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
なお、この取扱説明書では安全事項のランクを「警告」「注意」として下記のように区分してあります。




	警告:	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が潜在的に想定される場合。
	注意:	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみが想定される場合。

[絵表示について]


注意(警告が含む)が必要な場合




		
一般的注意	感電注意	発火注意


してはいけない行為(禁止行為)


		
禁止	接触禁止	分解禁止

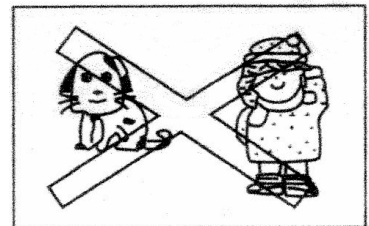
必ずしてほしい行為(強制:指示行為)



一般的指示


 **警告:** 火災や感電事故を防ぐために  

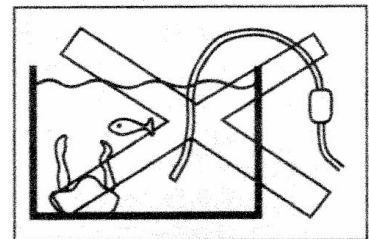
-  ●配線工事は電気工事の知識を有するものが法規(電気設備技術基準)に従って行って下さい。
- 安全のために漏電ブレーカーを設置して下さい。
- 配線接続部分が水や雨、露にさらされないようにして下さい。
- 取付け、点検する際には電源を切って行って下さい。
- ゴム被覆に亀裂が生じて、発熱線や電線が露出した場合は、すぐに使用を中止して下さい。

-  ●動物や人体の保温には使用してはいけません。
- 発熱部が常に浸水(油)するような場所では使用しないで下さい。漏電・感電の原因となります。
- 製品の上に物を乗せないで下さい。
- 製品に他の熱器具を近づけないで下さい。
- 製品に傷をつけたり無理に引っ張ったりしないで下さい。
- 無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、縛ったりしないで下さい。







-  ●雷がなりだしたら製品にはふれないで下さい。感電の原因となります。


-  ●製品にアルコール等揮発性溶剤や他の薬品を付けないで下さい。
- 爆発性を伴う危険雰囲気場所での設置使用はしないで下さい。



- 表示された電源電圧以外で使用しないで下さい。
- この製品の配線接続部分に他の機器をつながないで下さい。
- 製品の定格容量に見合った接続機器を使用して下さい。
- 製品を傷つけると、火災や感電の原因となります。

-  ●製品は分解、改造等しないで下さい。

 **注意:** 次のような場所では使用しないで下さい。火災や感電の原因となる場合があります。  

-  ●湿気やほこりの多いところ
- 油煙や湯気の当たる所
- 熱器具の近くなど



注意： エンビ等、樹脂製の容器や配管を保温する場合



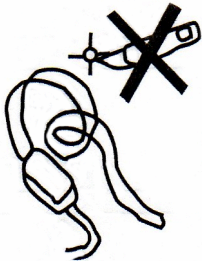
- 容器内部の液体が減少したり配管内が空になった時には、速やかにヒーターの電源を切って下さい。異常に温度が上昇し事故の原因となります。
- 安全の為、最も加熱が予想される場所に加熱保護用のサーモスタットを付けて下さい。(エンビ樹脂の場合には、MAX温度80℃です。)



注意： 取付け時及び使用中には



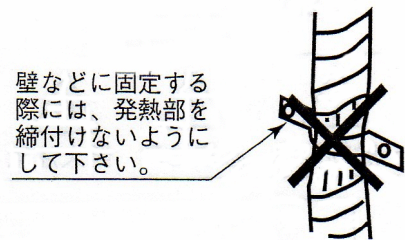
- 傷を付けたり強く引っ張らないで下さい。断線や故障の原因となります。
- 鋭角(半径8mm以下)には曲げないで下さい。
- 発熱部を強く締め付けしないで下さい。
- 強いショックを与えないで下さい。
- 発熱部を重ね巻きしたり束ねてはいけません。異常加熱により火災の原因となります。
- 発熱部は余らないよう配管に全て巻付けて下さい。
- 空中に吊り下げたりしてはいけません。



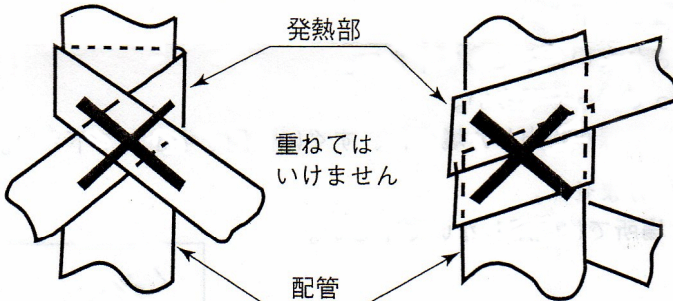
傷をつけないで



強いショックを与えないで



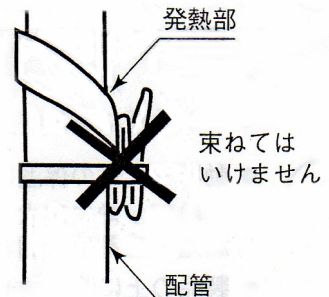
壁などに固定する際には、発熱部を締め付けないようにして下さい。



発熱部

重ねてはいけません

配管



発熱部

束ねてはいけません

配管



注意： 長時間使用しない時は



- 安全と節電の為電源は遮断しておいて下さい。



注意： 1年に一度は点検をする



- 故障や事故を未然に防ぐために外観・電気的特性を確認しましょう。
- 点検を行う前には必ず電源を遮断して下さい。
- 経年変化や傷等により製品にヒビや割れが生じた場合は新品と交換して下さい。



注意： 長い間使用しなかった後再使用する前には



- 絶縁抵抗を確認して下さい。
- 外観上ヒビ割れや傷がない事を確認して下さい。